

奈良県社会福祉協議会 発行  
ボランティア情報誌「コンパス」

# Compass

Vol.  
28/29  
合併号



ほぶりちゃん

花が咲くと  
人も虫も  
ココロはずませて  
動きはじめるね。  
ボランティアの一步も  
ココロやカラダを  
動かすことから。  
待ってるよ、その一步。

## 特集

ボランティアセンターの運営を考える ..... 2~5

ほっとなボランティアグループ

地球くらぶ ..... 6

企業の社会貢献活動

奈良中央信用金庫 ..... 7

ひと・まち・くらし

吉野町社会福祉協議会 ..... 8

情報アンテナ

ボランティアネットにアクセスしてみよう  
助成制度、募集情報、イベント情報ほか ..... 9~11

ボランティアセンター こぼれ話

編集後記 ..... 12

名前：ほぶりちゃん

意味：「ポプリ」はそれぞれ全く違う香りをもつハーブや香料を調合して詰めた瓶・壺です。それに同じくボランティア活動も雑多とした個々の個性的な活動の集まりと考えられないでしょうか？奈良県でのボランティア活動一つ一つが全体として調和され、住民個人や地域社会全体にとってポプリの芳香のように幸せをもたらすものであることを願って「ほぶり」と名付けました。

イメージ：ボランティア活動は、個人の自発的な意志に基づく独創的かつ自由な活動であることから、不定形であって、自発性・自由度を象徴する羽根を持ち、他者へのちょっとした好意を表すハートを灯した天使の姿をイメージしています。

# 特集

## 「社会福祉協議会・ボランティアセンターの運営を考える」 〜市民参加・協働によるボランティア・市民活動の振興をめざして〜

### 1 はじめに

阪神淡路大震災でのボランティア・市民活動の活躍や平成10年の「特定非営利活動促進法」の成立などにより、ボランティア・市民活動に対する社会的な関心が高まっています。従来の福祉中心の活動から、国際・環境教育・まちづくりなどの活動分野の広がりが有償サービス・住民参加型・NPO法人など新たな形態の活動を展開する活動者や団体が増えてきています。

全国的にはボランティア活動者数(2004年3月現在)は約780万人で、奈良県内では約6万2千人のボランティアが活動されており、2000年4月と比較すると約1.6倍の活動者数増になっています。

このようなボランティア・市民活動の広がりに対して社会福祉協議会(以下「社協」と言ふ)ボランティアセンターはどのような役割を担っていく必要があるのでしょうか。

ここでは「社協ボランティアセンターの運営」について考えます。

### 2 社協ボランティアセンター運営の課題

#### 1 幅広い活動への総合的な支援

前述したように、ボランティア・市民活動の状況は様々な分野や形態により広がりを見せています。

社協ボランティアセンターは、幅広いボランティア・市民活動を総合的に支援する方針を明確にする必要があります。

従来の無償のボランティア活動や高齢・障害・児童といった狭い意味での福祉活動団体等への支援だけでなく、有償非営利活動、NPO、小地域活動、当事者活動、企業の社会貢献活動など幅広い活動を支援することが求められています。

社協は地域福祉を推進する組織であり、住民一人ひとりの暮らしを基盤に、地域の生活課題・福祉課題解決に取り組む「誰もが安心してくらするまちづくり」を目指しています。

地域福祉推進に必要な活動者・団体とのネットワークを広げ、まちづくりに向けてこれらの団体等と連携・協働していくために幅を広げる必要があります。

ボランティア・市民活動との関わりなどを積極的に拡大することにより、社協の信頼度が向上することになります。

#### 2 民主的な運営体制の確立

ボランティア・市民活動を総合的に支援する方針に基づき、活動・事業を展開するためには、運営体制を整備する必要があります。

一般的には、ボランティアセンター運営委員会を設置することになります。

運営委員会は、地域のボランティア・市民活動に関わる幅広い関係者(ボランティア・NPO・学校・企業・当事者団体・マスコミ・公募住民・行政等)で構成し、事業の企画・立案・運営企画、評価などセンター運営を実質的に担う体制を整備することが重要になります。

この様なことから、事業の企画・実施等に関わる人材を選任することが大切です。

また、事業の企画・実施を現実的にするため、課題別小委員会などを設け、運営委

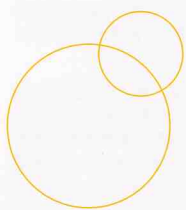
員・市民の参加によって事業を推進することも必要となります。

#### 3 協働の促進

社協は地域の課題解決に取り組んでいますが、課題解決は社協だけでできることではありません。

他の推進機関などと課題解決に向けた協働事業に取り組むことで、それぞれの機関が持つ機能・ノウハウの提供などにより、社協だけではアプローチできない新たな社会資源との関係構築やサービス開発などの効果が期待できます。

協働促進のため課題別のテーブルを提供し、ボランティア・NPO・企業・学校などとの協働に積極的に取り組むことが求められます。



## 4 質の高い職員養成・配置

社協職員には、様々な住民への相談対応、ボランティア・NPOなどの専門的知識・経験をもつ人への対応、関係機関との連絡調整・ネットワークの構築など高いレベルの質が求められます。

トータルに住民生活や地域のニーズに対応することができるように、様々な関係機関との関係づくり、調整などができる人材養成と配置が重要になります。

## 5 ボランティアセンター拠点整備

ボランティアセンターは様々な市民が利用します。活動者・団体の交流、学習などの拠点となるようセンターの環境を確保・整備する必要があります。

具体的には、会議・研修のための部屋の貸出、ロッカー、メールボックス、各種機材貸出、「コピー機・輪転機などの機材整備、情報誌・チラシなどによる情報プース設置」などがあげられます。

また、夜間や休日のセンター利用が可能となるように、開所時間・シフト勤務などの職員勤務体制の工夫なども求められます。

## 3 県社協ボランティアセンターの取り組みから

前述してきた課題に対して特に、運営体制と協働について奈良県社協の取り組みを紹介します。

### 1 ボランティアセンター運営委員会

奈良県社協では運営委員会設置にあたって、外部からの委員で構成する「ボランティアセンター運営委員会設立準備会」を立ち上げ5回に亘って議論を進めました。

県内ボランティア・市民活動の状況、県社協ボランティアセンターの課題等を踏まえ、

- ① ボランティアセンター基本構想 (資料1・資料2)
- ② 運営委員会のあり方 (資料3)
- ③ 委員構成

の大きく3項目について整理し、平成16年3月に正式に発足しました。

### 奈良県社協ボランティアセンター基本構想 (資料1)

#### 【基本理念】

奈良県社会福祉協議会の基本理念である「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目標に、その実現に向けて主体的に行動するボランティア・市民活動の振興を図る。

#### 【基本方針】

##### 1 「総合化」

住民一人ひとりの暮らしを基盤に、地域に根ざした活動を行う福祉分野のボランティアを大切にしながら、国際・環境・教育・まちづくり等の幅広い活動分野や有償非営利サービス・住民参加型・NPO法人等の新たなスタイルを展開する市民活動との協働を図り、ボランティア・市民活動の振興を総合的に推進する。

##### 2 広域ボランティアセンター

奈良県全体を対象にした広域的なボランティア・市民活動の振興を目的に、広域による協働・情報発信・ネットワーク等の拠点をめざす。

### 3 地域支援

地域における福祉「コミュニティ形成」を担う様々なボランティア活動について、市町村社会福祉協議会ボランティアセンターの基盤整備やボランティアコーディネータの専門性向上を図ることにより、側面的に支援する。

### 4 福祉教育の推進

児童・青少年から成人を含めすべての住民が、共に生きる社会の一員として、その地域にある様々な生活課題に目を向け、課題解決に取りくむ力を育むとともに、福祉のまちづくりを担う人材を育成する。

また、運営委員会の機能としては、

- ① 基本方針・事業に対する意見具申
- ② 事業の企画・立案
- ③ 事業の運営参画
- ④ 事業の評価

とし、事業に関する企画・立案、運営参画の具体的な市民参画の場として課題別小委員会を設置しています。

小委員会構成は運営委員及びその他課題に関係のある市民が参画し、以下の2つの委員会を設置しています。



## 「基本方針」に関する捉え方

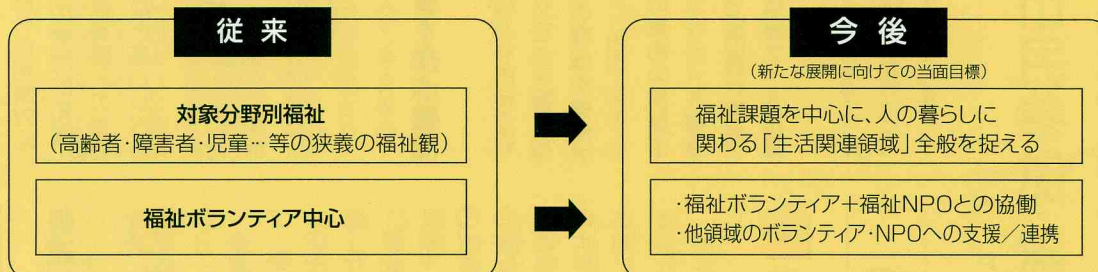
(資料2)

① 支援対象 → 全てのボランティア・市民活動者(活動分野・活動形態を限定しない)

② 県社協ボランティアセンター発展の方向性(中・長期的な事業計画においての考え方)

(1) ○支援から、協働のパートナーとしての関係

○狭義の福祉から、生活関連領域への拡大



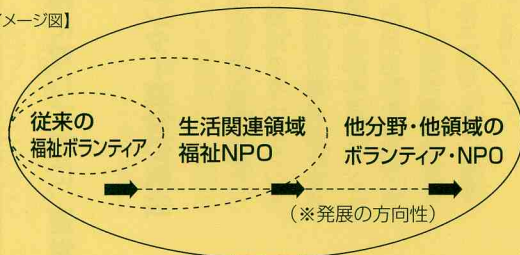
### <事業イメージ>

○課題別プラットフォーム事業

(災害福祉救援/福祉教育/福祉移送サービス/企業の社会貢献/住民参加型在宅福祉サービス...etc)

(2) ○他領域のボランティア・NPOとの関係拡大

【イメージ図】



### <事業イメージ>

ボランティアセンター運営管理事業

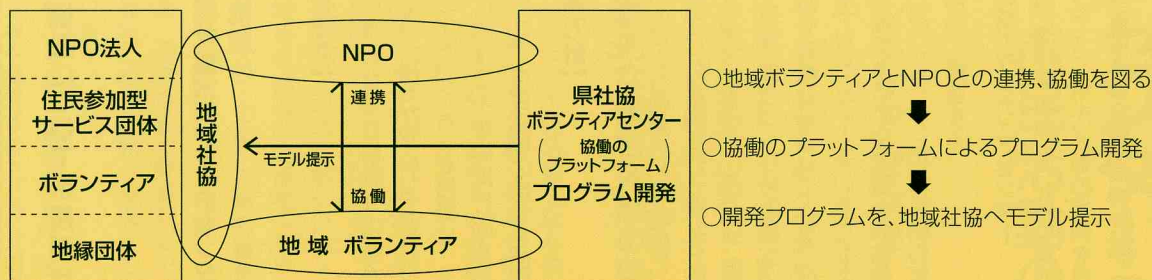
○相談・連絡調整(団体運営、活動資金等への相談対応)

○情報収集・発信(他領域へのボランティアネット会員拡大)

○拠点・活動支援(他領域団体への積極的な利用案内)

→ 全てのボランティア・市民活動者(活動分野・活動形態を限定しない)

③ 地域ボランティア+NPOとの協働(地域社協への支援イメージ)



モデルプログラム開発は、地域性(ベクトルタウン地域、山間・過疎地域、平野部地域)・実施体制(プログラム開発を目的にした実行委員会組織化、既存の部会・委員会等での検討等)・子どもたちが主体的に関われ、「気づき」や「感性」が育まれるプログラム開発を重視しています。

平成17年度はベクトルタウンモデルとして、上牧町社協を指定して、地元で実行委員会を組織し、「人間大好き」で感じる参加型福祉教育プログラムをテーマに3プログラム(世界発見・in上牧(外国人や高齢者との交流を通じた異文化理解)、私の誕生物語(自分の誕生物語作成を通じてかけがえない自分や命について考える)、求む君の

① 福祉教育実践プログラム開発

② 福祉教育関連機関との広域ネットワーク化

平成17年度と平成18年度は、福祉教育実践プログラム開発に重点を置き、市町村社協をモデル指定しプログラム開発を行っています。

既存事業の評価を行い、「県社協福祉教育推進ビジョン」を整理し、中長期で取り組む項目を次の2項目で整理しています。

① 福祉教育実践プログラム開発

② 福祉教育関連機関との広域ネットワーク化

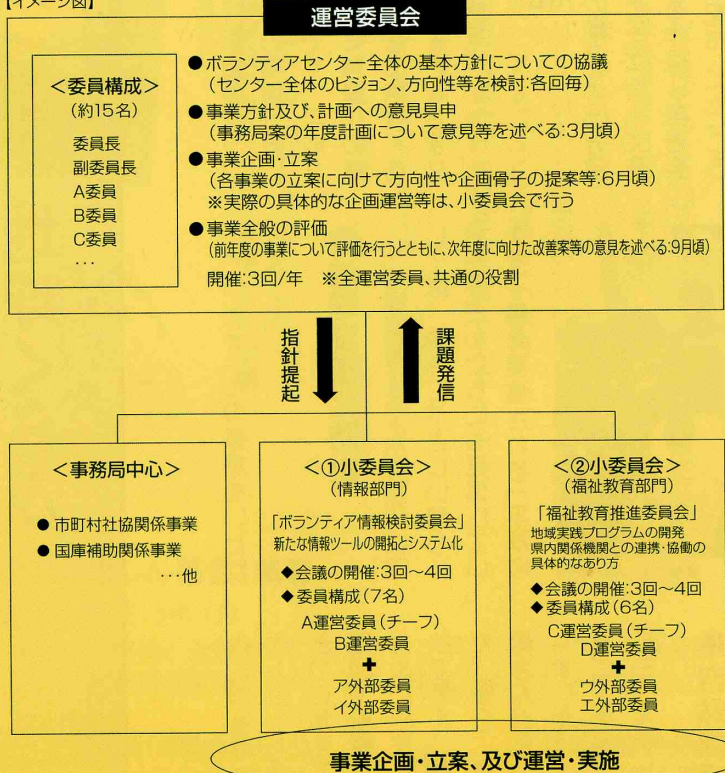
県社協は従来、「ならみふれあい体験(夏のボランティア体験事業)」「ボランティア協力校指定事業」「福祉教育推進セミナー」などの福祉教育関連事業を実施してきました。

しかし、事業間の位置付け・関係性の整理がなく体系的な事業推進になっていないという課題から、福祉教育関連事業の体系化について検討を始めました。

(1) 福祉教育推進委員会

## 運営委員会、及び小委員会の位置づけと役割 (資料3)

【イメージ図】



感性！ファッションショー取材記者募集(知的障害者ファッションショー取材を通じて障害を持つ人の暮らしを考える)を開発し実施しました。

平成17年度第3回ボランティア担当者連絡会において実践報告を行い、市町村社協への普及の機会と位置付けました。

平成18年度は、五條市社協西吉野地区と高取町社協を指定し、山間・過疎地域型と平野部型のプログラム開発を行う予定です。

(2) ボランティア情報検討委員会

情報検討委員会の委員構成は、マスコミ関係者(テレビ局・新聞社)・インターネット情報の活動を行うNPO・企業関係者・大学関係者・行政等で構成しています。

県社協の主な情報提供媒体として、ホームページ、インターネット情報システム「奈良ボランティアネット」、広報誌「コンパス」があります。

委員会では、県社協が有している情報媒

体にはボランティア活動に関心のある方のアクセスが殆どである。もつとボランティア活動に関心のない人が情報媒体も含めてボランティアセンターそのものの存在を知ってもらうための情報提供のあり方を考えていく必要があるという結論になりました。

そこで、県民にボランティアセンターの存在を知ってもらうために、情報媒体としての社会資源の把握と活用方法について検討を重ねてきました。

具体的な取り組みとして平成17年度は、奈良テレビ放送の番組と、県主催番組「情報！奈良チャンネル」においてボランティアセンターのPRを行いました。

平成18年度以降も、様々な社会資源へのアプローチを図っていく予定です。

## 2 協働の促進

県社協の協働事業の取り組みは、先述べた課題別小委員会での取り組み以外に、2004年から奈良NPOセンター・近畿労働金庫奈良本部・奈良県労働者福祉協議会との4者協働で社会的な課題をテーマに県民に対して、「ならNPOメッセ」を開催しています。

企画・運営は4者の関係者による企画会議で検討し、財源は参加団体からのそれぞれの負担金で賄っています。

また、災害発生時、迅速且つ効果的な救援活動を行うため、平常時から県域の多様な団体とのネットワークとして「奈良防災プラットフォーム」を構築しています。

平成17年度は、具体的な取り組み等について整理しました。

この様な協働事業の取り組みを通じての成果は、それぞれの団体が持つ機能を有機的に結びつけて共通課題に対応できることや、そこからまた新たな社会資源との繋がりが他の協働事業へ発展するなどがあげられます。

協働のテールづくりは、時間も労力もかかりますが、住民参加を基本に様々な団体等と課題解決に向けた取り組みを図っていくプロセスを重視することにより、社協の信頼度アップにも繋がります。

以上のように、特に運営体制の整備・協働促進等について述べてきましたが、社協ボランティアセンターは、様々な団体・活動者と連携・協働の関係を構築していく窓口として重要な役割を担っています。

今後、ボランティア・市民活動との関係の幅を広げ、地域の課題解決や活性化に取り組む様々な住民の力を結集して「福祉のまちづくり」に更に取り組んでいくことが社協に求められている大きな役割と言えます。



ホットな  
ボランティア  
グループ



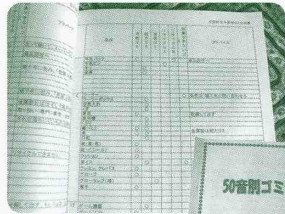
# 地球くらぶ

「地球くらぶ」は平群町ボランティア連絡協議会の環境分野に所属するグループです。平成9

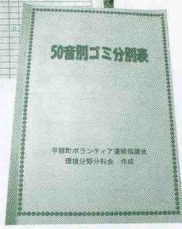
年の設立以来、「ゴミ減量化の推進、地球温暖化防止の啓発、自然保護など」に関してさまざまな活動を進めています。

## ●ゴミ減量化

「ゴミ減量化の推進」では分別の徹底を図るために、「50音別ゴミ分別表」を作成し自治会、各種団体などに配布したところ、特に高齢者所帯から「分別に困った時にすぐ調べられるので便利（い）も見えるように置いて利用



50音ゴミ分別表



しています」との感想をいただきました。

## ●地球温暖化防止

「地球温暖化防止の啓発」に関しては、地球にやさしい暮らし方を子どもたちにも発信しています。毎年開催される「平群町



環境カルタ取り大会

いきいきフェスティバル」で「環境カルタ取り大会」を開き、楽しく遊びながら学んでもらっています。

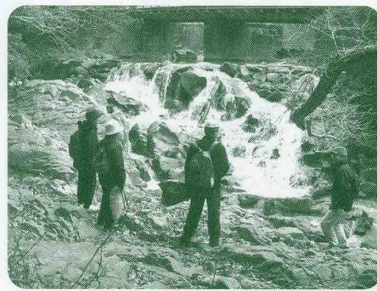
また、社会福祉協議会が夏休

みに開催する「ボランティアスクール」では、昨年は講座のひとつに加えてもらい、温暖化の原因や影響を学び、進行を防ぐために出来ることは何かをみんなで考え、意見を出し合いました。後日、参加した中学生のお母さんから「子どもから教えられました。また夏休みの自由研究に大変役立ちました」と喜んでもらえました。

## ●自然保護

「自然保護」に関しては、町内を縦断する竜田川の浄化保全活動に取り組んでいます。すでに先進的に活動されている「秋篠川源流を愛し育てる会」と交流を重ね、昨年10月に平群町で「秋篠川に学ぶ、ふれあいの川づくり」と題した講演会を開くことが出来ました。そのなかで、「竜田川を住民の力で、みんなが楽しめる水辺にしよう」と提案したところ20名ほどの賛同者があ

り、今年の1月に新たに「竜田川ネット」を立ち上げました。



「竜田川ネット」の勉強会

目標を「沿道の緑化」「環境改善」「水質改善」「散歩道の整備」と定め、勉強会を開きながら活動を進めているところです。会員はリタイア組みの男性が多いので、これまでの経験を活かして幅広い活動をしてもらえるのではないかと期待しています。地球くらぶも「竜田川ネット」にも参加して、ふれあいの川づくりに共に取り組んでいきたいと考えています。

環境の世紀と言われる今、子

や孫の世代により良い状態の地球を手渡すために、私たちに来ることは何かを見つめ、たくさんの人と手をつなぎ、交流を楽しみながら、夢に向かって歩一歩前進したいと思えます。



## 地球くらぶ

〒636-0914  
生駒郡平群町西宮2-1-6  
プリズムへぐり内平群町社会福祉協議会 気付  
TEL:0745-45-5710  
FAX:0745-45-8611  
地球くらぶの紹介ページ  
<http://www.geocities.jp/tatutagawa21/>

企業の  
社会貢献  
活動



「良き企業市民」を目指し、  
地元の皆様と手を携え様々な活動を展開

奈良中央信用金庫

◆「みなさんこんにちは、ちゅうしんです。」

ちゅうしんでは、昭和23年の創業当時より『常に地元の皆様と共に、地元の発展に貢献する。』を経営理念に掲げ、社会貢献を推進し、無意識のうちにCSR活動に取り組みで参りました。

そして、金融サービスにとどまらず様々なサービス提供に努め、広く地域社会の活性化に取り組んでいます。

近年の活動としては、チャリティコンサートの開催(H5)、全国に先駆けてのNPOローンの取扱い(H12)、役員員の善意を積み立てた「ならちゅうしん基金」の創設(H13)、NPO団体の経理担当者向けのNPO会計セミナー(H15)などがあげられます。

また、「ならちゅうしん基金」をベースに

- ① 奈良NPOセンターとの協働による「なら・未来創造基金」の創設
- ② 環境浄化木「ヒマラヤ桜」の地元小学校への植樹
- ③ 高齢者疑似体験装具の県社会福祉協議会への寄贈などを行っています。



『ならちゅうしん基金』概要

- 設立 平成13年4月
- 内容 役員員と金庫本体のマッチングギフトという形で基金に積み立て、社会貢献事業に活用。現在、年間で約185万円を積み立てています。

役員員(希望者のみ)の  
給与から毎月300円



金庫本体が役員員分と  
同額を拠出

ならちゅうしん基金

年間185万円を積み立て、各種社会貢献に活用

役員員によるボランティア組織「ちゅうしんボランティアクラブ」(ちゅうしん田原本会)も様々な社会貢献活動を展開しています。

『ちゅうしんボランティアクラブ』  
の主な活動

- ◆ 使用済み切手、プリペイドカード等の回収
- ◆ 衣料品のリサイクル
- ◆ 店舗所在市町の清掃活動

『ちゅうしん田原本会』  
の主な活動

- ◆ 田原本町内清掃活動
- ◆ 地元イベントへのマンパワー協力

毎年クリーンキャンペーンを実施



田原本小学校での「ヒマラヤ桜」の植樹

また、昨年には県の呼びかけに賛同し「なら子育て応援団」に入団、CSRの一環として多子世帯支援の金利優遇商品の取扱いをスタートしています。  
これからも、ちゅうしんでは、地域社会やひろく社会全般の発展に貢献する「良き企業市民」として、地元の皆様と手を携え様々な活動を展開し、社会的責任を果たして参りたいと思っております。よろしく、お願い致します。

ちゅうしんデータ

創立 昭和23年8月  
会長 中島 實男  
理事長 今井 俊行  
本店 奈良県磯城郡田原本町132-10  
役員員数 257名  
店舗数 15店 (平成18年1月末現在)

●お問い合わせ先  
奈良中央信用金庫 総務部  
磯城郡田原本町 132-10  
電話 07443-3-3311 (代)  
URL <http://www.narachuo-shinkinbank.co.jp>

# 「ボランティアの活動を応援します」

## 吉野町社会福祉協議会ボランティアセンターです」



吉野町では、社会福祉協議会前にボランティアの相談窓口としてボランティアセンターを設けています。ボランティアセンターでは、登録ボランティアを対象とした先進地視察研修の開催や、町民を対象としたボランティア啓発研修を行っています。

動は、老人福祉施設での活動や、地域でのサロン活動、障害者スポーツ大会での介助等様々な活動を行っています。

「まごころ吉野」は、ヘルパー養成研修2級課程修了者の集まりによるグループで老人福祉施設での活動を主としています。

観光ボランティアや手話サークル、食生活推進協議会等が町内で様々な活動を行っています。

「おはなしらんどカンプリア」は、児童福祉のボランティアで、文庫活動、紙芝居、人形劇、読み聞かせ、ブックスタート事業等を行うグループで、様々な新しい企画を考え活動しています。

吉野町では、これまで社会福祉協議会と各グループとの関係だけで、グループ間のつながりがなかったため、各グループより連絡協議会設立の声があがり、設立に向けて検討中です。また、町内では様々なボランティアに対するニーズがあることは社会福祉協議会としても認識していませんが、需要調整をうまく出来ない状況であるので、早急に改善してまいります。

吉野町では社会福祉協議会に登録しているワグループと個人ボランティアが、老人、障害、児童、観光、環境に関するボランティア活動を行っています。グループの紹介として、「ボランティア山ざくら会」は会員約130名の大きなグループで、設立当初から社会福祉協議会と連携を取って活動を行っています。主な活



「山ざくら会による吉野川清掃活動」



「山ざくら会によるサロン」



「カンプリアによる絵本読み聞かせ」

又、社会福祉協議会へ事業の提案や協力もしています。その他のグループも、吉野町

### ● お問い合わせ ●

吉野町社会福祉協議会  
ボランティアセンター

〒639-3114  
吉野郡吉野町丹治130-1  
TEL 07463-2-8978  
FAX 07463-2-1569



次のページも  
情報いっぱい!



ボランティア活動に役立つ情報がいっぱい!

## ボランティア 情報 アンテナ

# 助成制度

### 第4回 ドコモ市民活動団体への助成事業

#### 実施団体 NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド

##### ○申込先

〒107-0052 東京都港区赤坂2-4-5 国際赤坂ビル19F  
NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド  
TEL: 03-5545-7711 FAX: 03-5545-7722  
URL: <http://www.mcfund.or.jp/> E-mail: [info@mcfund.or.jp](mailto:info@mcfund.or.jp)

##### ○助成対象活動

テーマ: 子ども育成 「子どもを守る」という視点から、以下の活動テーマのいずれかに該当するもの

- ① 不登校・ひきこもりの子どもや保護者に対する精神的・物理的な支援・復学・社会的自立支援活動
- ② 児童虐待やDV、性暴力などの被害児童・生徒を保護・支援する活動
- ③ 非行、地域犯罪等から子どもを守る為の支援活動
- ④ 子どもの居場所づくり
- ⑤ 軽度発達障害を持つ児童の支援活動
- ⑥ 上記以外で「子どもを守る」という視点に立った活動テーマに相応しい支援活動

##### ○対象団体

- ・日本国内の活動拠点を有する民間の非営利活動団体で特定非営利活動法人(NPO)等の法人格を有するもの
- ・活動実績が2年以上である団体(NPO法人等の法人格を有する以前の活動実績を含む)
- ・複数のNPOが連携した協働事業で、地域の中間支援組織が代表申請団体となる場合は、その協働グループ

##### ○応募方法

申請書用紙を法人のホームページからダウンロードしてください。

##### ○募集締切 平成18年6月30日(必着)

##### ○助成金額

一件あたり50万円を標準とし、200万円を上限とする。

### 平成18年度 社会福祉助成事業 <事業助成>

#### 実施団体 財団法人 太陽生命ひまわり厚生財団

##### ○申込先

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-11-2 太陽生命ビル内  
財団法人 太陽生命ひまわり厚生財団 事務局  
TEL: 03-3272-6268 FAX: 03-3272-6268

##### ○対象事業

ボランティアグループが在宅高齢者または在宅障害者の福祉に関する事業を行うために必要な費用について助成する。

- A. 在宅高齢者または在宅障害者の自助・自立の意欲を引き出し、または鼓舞する等その生活の支援に資する事業
- B. 在宅高齢者または在宅障害者の家族に対し介護負担の軽減にかかわる支援をする事業
- C. 在宅高齢者または在宅障害者の福祉に関する事業をするために必要な機器、機材、備品等を整備する費用

##### ○助成対象

地域福祉活動を目的とするボランティアグループおよびNPO(法人格の有無は不問)

##### ○応募方法

所定の申込書に必要事項記入し郵送で応募

☆応募申込書の請求は、必ず応募申込者の団体名、住所、TEL、担当者名を記入して連絡先までFAX(郵送)で請求。

##### ○応募締切

6月末日、郵送による必着(FAX不可) ※申込書の請求は6月20日まで。

##### ○決定時期

平成18年9月中旬までに申込者あて文書通知

##### ○助成金額

20~50万円

### サラリーマン(ウーマン) ボランティア活動助成

#### 実施団体 財団法人 大同生命厚生事業団

##### ○申込先

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目2番1号 大同生命大阪本社ビル内  
財団法人 大同生命厚生事業団 事務局  
TEL: 06-6447-7101  
FAX: 06-6447-7102  
URL: <http://www.daido-life-welfare.or.jp/>

##### ○助成対象

- (1) 高齢者福祉に関するボランティア活動
  - (2) 障害者福祉に関するボランティア活動
  - (3) こども(高校生まで)の健全な心を養うための交流ボランティア活動で、内容が先駆性、継続性、発展性があり、効果が予測できるもの
- いずれも目的、計画等が明確な日本国内での無償の活動とする。

##### ○助成対象団体(個人)

社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするサラリーマン(ウーマン)の個人もしくはそのグループただし、過去5年以内に本助成を受けた人(グループ)は除く

##### ○応募方法

財団所定の申込書に所定事項を記入のうえ、送付(Eメールでの提出は不可)申込書は財団のホームページよりプリントできます。またはFAXで請求。

##### ○募集締切

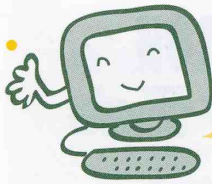
平成18年5月31日(水)(メ切日厳守)

##### ○決定時期

平成18年8月下旬

##### ○助成金額

1件20万円以内(総額600万円以内)  
助成金は直接ボランティア活動に要する費用とし、シンポジウムや講習会開催、グループの事務所家賃、パソコンの購入費用、ボランティアグループのためのセミナー・講習会の開催などの費用は助成の対象としない。



「ボランティアをはじめたい!」「イベント・講座に参加したい!」「どんな活動があるのかわかりたい!」と思ったら

**募集情報** **イベント情報** **団体情報** **施設情報** をご覧ください。

\*その他、助成制度・貸館情報が検索できます。

「ボランティアに来てほしい!」「自分たちの活動を多くの人に伝えたい!」と思ったら

**奈良県総合ボランティアセンター** へお知らせください。

\*またはボランティアネット情報登録ページから情報を直接登録することで広くPRが可能です。(会員登録が必要です)

●メールマガジン「Vio」を毎日配信中(火~土)●

電子メールでもボランティアの相談・情報の掲載依頼を受けつけています。メールアドレス/info@nvn.pref.nara.jp

### 県立青少年野外活動センター キャンプ補助員募集

◆メッセージ

大自然の中で子どもたちと楽しい時間を過ごしてみませんか。

◆活動内容

当センターで活動するキャンパーの援助や主催事業のスタッフなど

◆対象

大学、短期大学、専門学校生でボランティア活動に関心を持っている人

◆活動日時

休日・週末・長期休業期間等学業に支障のない日に、年間を通して

◆申込方法 電話かFAX、E-mailで下記へ

◆問合せ 県立青少年野外活動センター  
〒632-0231 奈良市都祁吐山町2040  
TEL: 0743-82-0508  
FAX: 0743-82-2026  
yagai63n@vesta.ocn.ne.jp

### 『特別支援教育ボランティア養成講座』

『特別支援教育』の中で、私たちが担えることは何かをもう一度考えて見ましょう。

◆開催日時 6月17日(土)13:00~16:00(年間10回の講座の第1回目です。)

◆開催場所 奈良県文化会館国際ホール 奈良市登大路町

◆内容 年間10回の講演や実習等によるサポーターの養成。終了後は、修了書を発行するとともに、サポーターを求めている学校、学級に紹介。

◆対象 教育に深い関心を持ち、子どもたちのために役立とうとする人(教員資格はなくても可。あればなお良し)

◆定員 30名

◆参加費 無料

◆申込方法 Fax又はe-mailで、氏名、連絡先を明記して送ってください。後ほど申し込み用紙を送ります。6月17日(土)締め切り

◆問合せ 特定非営利活動法人 あるふあ「養成講座係」  
担当: 前川孝士  
FAX: 0745-44-1715  
E-mail: yousei@kcn.ne.jp

★メッセージ 地域で障害児・者が豊かに暮らすための助け合いのネットワークを広げることを願っています。

### 2006 やまびこコンサート『ともに生きる ~障がい者福祉の「わ」を広げよう~』

今年も感動と喜びを共にしませんか!

◆開催日時 6月11日(日) 14:00~

◆開催場所 天理市民会館(やまのべホール)

◆内容 障害者問題について、コンサートを通して共に生きるこの意味を考えていきたいと、毎年開催しているチャリティーコンサートです。

出演/天理高校吹奏楽部・天理中学校吹奏楽部・朝和保育園・柳本保育園  
やまびこたる太鼓・共に生きる舞やまびこ

◆対象 どなたでも

◆参加費 整理券 500円

◆主催 やまびこコンサート実行委員会

◆問合せ 整理券の希望は下記まで

天理市社会福祉協議会  
TEL:0743-63-1001(内線760) FAX:69-5201  
特定非営利活動法人 やまびこ 担当: 中森  
TEL/FAX: 0743-67-0906  
定員になり次第締切とさせていただきます。

### 不登校の子どもたちと一緒に活動して下さるボランティア募集!~「ハートハース」春期ボランティア研修~

奈良YMCAのフリースクールを支援するボランティア団体「ハートハース」では、不登校の子どもたちと一緒に活動して下さるボランティアを募集しています。

2回の研修を受講して下さった方には委嘱状を発行して、以後「ハートハース」会員として活動してもらえます。

◆開催場所 奈良YMCA  
奈良市西大寺国見町2-14-1  
(近鉄西大寺駅南口徒歩5分)

◆開催日時と内容

研修=6月5日(月) 15時~17時  
講師/山田静代さん(臨床心理士)「居場所とは」

◆参加費 500円

◆申込 事前申込不要

◆問合せ ボランティア団体「ハートハース」  
担当: 北林 TEL: 07443-2-7092 まで  
URL: <http://www.geocities.co.jp/NeverLand/9869/>

# ボランティア 情報 アンテナ

## 募集・イベント情報

### 市民環境活動の拠点として「なら環境交流館」が4月1日オープンしました! ボランティアスタッフ募集

- ◆活動内容  
なら環境交流館で会員など来場者の対応や行事の企画運営など(自分で行事企画をしてみたい方歓迎)
- ◆活動日  
休館日の月曜を除き、できる範囲で結構です。
- ◆待遇  
手当ては原則としてありませんが、事業内容によって支給されることもあります。交通費は内容により支給。
- ◆募集対象  
資格・年齢等不問です。(パソコンが出来る方。企画に興味ある方。コーディネートに興味のある方 歓迎)5名ほど
- ◆活動場所  
なら環境交流館(奈良環境パートナーシッププラザ) 奈良市北市町71番地の2(近鉄奈良駅7番北出口から5分)
- ◆申込方法  
住所、氏名、年齢、特技、応募動機、ボランティアができる時間や曜日を記載のうえ下記へお送りください。
- ◆問合せ先  
NPO法人 奈良県民環境ネットワーク  
〒630-8261 奈良市北市町71-2  
TEL & FAX : 0742-24-0080  
E-mail : eco@nara-kankyo.net

### 「第40回全国障害者問題研究会全国大会」ボランティア大募集!

- ◆メッセージ  
ボランティア講座も開催します(6/4, 7/16)ので、初心者でも大歓迎です。興味のある方、ぜひご連絡ください!
- ◆活動日時  
7月28日(金)～30日(日)  
1日単位の参加も可能ですが、できるだけ3日間通して参加できる方
- ◆活動内容  
障害者問題について、全国から3000人が集う大会を行います。主な活動は・・・  
・子どもたち(障害児・健常児)の保育 ・障害のある青年たちの活動のサポート  
・障害者の移動サポート ・参加者の受付・会場までの誘導、案内  
・パソコンボランティア ・医療・救護ボランティア  
など様々で、のべ600人のボランティアが必要です。
- ◆詳細ホームページ  
<http://www.zensyouken-nara.org/>
- ◆待遇  
当日は昼食(弁当)あり  
大会で作成したTシャツ(ボランティアの際に着て頂きます)も配布します。
- ◆活動場所  
奈良県文化会館、奈良教育大学 ほか
- ◆申込方法  
連絡先へFAXまたはメールで  
不明や点やお問い合わせは電話にて
- ◆問合せ先  
全国障害者問題研究会第40回全国大会(奈良大会)準備委員会事務局  
担当:土橋知幸  
TEL:090-7110-3243 FAX:0742-26-5355  
E-mail:youin-volunteer@zensyouken-nara.org

### 県立高校ボランティア講師 <コミュニティーチャー>募集

- ◆活動内容  
豊かな経験と専門的知識や技術をもつ皆さんに、高等学校の講師(ボランティアによる非常勤講師)になっていただき、より実践的な特色ある授業の手助けをしてもらいます。
- ◆活動日時  
高等学校の授業日
- ◆募集対象  
豊かな経験と専門的知識や技術を持つ社会人
- ◆申込方法  
コミュニティーチャー登録票に必要事項を記入のうえ郵送 ※登録票はHPよりダウンロード可。
- ◆詳細ホームページ  
<http://www.pref.nara.jp/kyosyoku/communitteacher/>
- ◆問合せ先  
奈良県教育委員会事務局教職員課  
〒630-8502 奈良市登大路町30  
TEL:0742-27-9846 FAX:0742-24-7256

### 特技を披露してくれる方 募集!!

- ◆活動内容  
老人デイサービスで歌、音楽など特技を披露してください。習字や花なども教えてください。
- ◆活動日時  
平日の日中にボランティアできる方、歓迎。
- ◆待遇  
朝から夕方までボランティアして下さる方のみ  
昼食が出来ます。少額ですが謝礼あります。
- ◆活動場所  
老人デイサービスセンター 秀華苑  
桜井市大字出雲1642番地
- ◆申込方法  
連絡先へ電話
- ◆問合せ先  
老人デイサービスセンター 秀華苑 担当: 的場  
TEL:0744-44-3201

# ボランティアセンター

## こぼれ話

ある日ボランティアセンターに「Par avion」と書かれた手紙が届きました。ホームページ「奈良ボランティアネット」を見たというフランスからの便りでした。内容は、障害をもつフランス人の音楽家が来日チャリティーコンサートを開きたいとの希望をお持ちのなかでの関係機関照会等のお問い合わせでした。インターネット通信により世界中からボランティアネットがアクセスされていることを実感し興奮しつつメールで返信を送りました。その後幾度かのやりとりのなかで、フランスの桜の写真を添えたメールをいただきました。街路樹として植えられた桜は、色濃く、見事に花開き、優美な景色にうっとりしました。遠い空の下から風が吹いてくるような心地よさでした。



### 社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会 奈良県総合ボランティアセンター

〒634-0061 奈良県橿原市大久保町320-11  
奈良県社会福祉総合センター 2階

- TEL : 0744-29-0155 · 0744-26-0233
- FAX : 0744-26-0234
- E-mail : info@nvn.pref.nara.jp

● 奈良ボランティアネット  
<http://www.nvn.pref.nara.jp>

#### 【開所時間】

- 月～土曜日 / 8:30～17:15

## 編集後記

プランターで育てたスナップエンドウが実り、お昼ごはんに頂きました。私と同じ日差しを浴びて育った実は、あまくて美味しかったです。すぐ傍の鉢にはネギ、そのととなりでチューリップの花が揺れるなか、日陰では、ほだ木を並べシイタケを育てています。庭らしい庭はない我が家ですが、元気な野菜・花たちに囲まれにぎやかな毎日です。

(は)